【別紙様式１】

大分市立大分西中学校　学力向上プラン１（９月）

取組番号②

学校教育目標	『人間性豊かで知性にあふれ、心身ともにたくましい実践力のある生徒の育成』
育成を目指す資質・能力	・確かな学力の定着と向上　・凡事徹底による豊かな心の育成　・健やかな心と身体の育成

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	**各種学力調査の分析結果から明らかになった課題** ・大分県の学力調査では5教科における目標値をすべて10pt以上、上回っている。 ・国語の正答率では、知識は全国や県と比較し、上回っている状況が見られた。しかし、思考・判断・表現も全国・県を上回ってはいるが知識の正答率には及ばなかった。 ・社会正答率では、知識・理解は全国・県と比べて高く、思考・判断・表現は知識よりやや低かった。資料活用等の課題が見られる。 ・数学正答率は、知識はかなり高く、思考・判断・表現との差は大きい。式の説明などの表現力が求められる。 ・理科正答率は、知識と思考・判断・表現の差はほとんど変わらず、5教科の中で一番差が小さかった。レポートなどで表現力を付ける必要がある。 ・英語正答率は、知識は高く、思考・判断・表現はそれよりも低い状況である。必要な情報等を読み取る力が求められる。 ・5教科の知識と思考・判断・表現の正答率の差を見ると開きが大きく、知識の活用が課題であることが明らかになった。	**各種学力調査の分析結果から明らかになった課題** ・観点別で見ると、それぞれの教科の関心・意欲・態度においても10pt以上目標値を上回り、学習意欲が高い状況が分かる。 ・知識・技能の正答率は全教科、全国・県を上回り、非常に高い状況が分かる。よって、基礎・基本の学力は改善されている状況が見られるが、活用の向上を目指す必要がある。
	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況（授業及び授業以外の側面から）	
	・ノーチャイムによる主体的な行動がとれている。 ・基本的な生活習慣の確立ができており、学習委員会が行う授業態度向上プロジェクトでは、非常に高い意識で授業に取り組めているのがわかる。 ・「議論の進め方カード」を利用した4人班の話し合い活動が、感染予防のために活発に行えない状況がある。	
指導の状況	**1 組織的な授業改善の取組状況** ・学校評価アンケートで「ノーチャイムによる授業1分前入室を実践している」と回答した教職員は（100%）。95％以上の目標取組指標を達成している。 ・「UDと生徒指導の3機能を取り入れた授業を1単元1時間以上実施した」と答えた教員は89.5％である。 ・表現活動（パフォーマンステスト）の全教科、各学期に必ず実施し、振り返りシートをそれぞれ工夫し必ず各学期ごとに取り組んでいる。 **2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況** ・個別の補充学習を全学年実施した。テスト前の質問教室のステップアップルーム、放課後学習、寺子屋学習では、宿題完全提出を目指し指導した。また、基本問題、応用問題を準備し、生徒が選択して問題を解けるように準備した。 ・担任における、学校評価アンケートで「毎日ノートの点検活動」の評価は94.7%と、目標を達成し、粘り強く実践を行うことができたと言える。	

学力に関する達成指標

○教員のUDを意識した授業の取り組み95％を目指し、「授業はわかりやすい」と回答する生徒90％以上を目指す。
○学校評価アンケートにおいて、「今日のめあてを理解し、積極的に授業参加をした」と答える生徒が90％以上を目指す。
○各種学力テストの全国平均値、2年県学力定着状況調査（＋9pt達成）、3年全国学習状況調査（＋10pt達成）を目標とする。
○学力テストの知識と活用の差を8pt以下にする。

今後の具体的な取組

【授業改善】

〈授業改善のテーマ・重点〉
＜テーマ＞確かな学力の定着と向上を目指し、新大分スタンダードに基づく授業づくりと評価
＜重点＞・授業と評価の一体化　・知識を活用した表現活動による基礎基本の定着と学力向上
・新大分スタンダードを入れた主体的・協働的な学び

〈取組内容〉
○研究部と協力し、全教科の単元作成と評価内容表を作成し授業を行い、授業と評価の一体化を行う
○表現活動（パフォーマンステスト）を年3回、全教科で実施

〈取組内容〉
○新大分スタンダードを取り入れた授業と、UDを踏まえた授業展開
○生徒指導の3機能を意識した問題解決的展開
○努力を要する状況の生徒に対する個別指導

〈取組指標〉
○具体的な評価基準に基づく確かな見取りを行い、生徒への還元を100％行う
○表現活動において振り返りシートを全教科で実施

〈取組指標〉
○学校評価アンケートにおいて、「UD・生徒指導の3機能」を取り入れた授業を1単元1時間以上の実施をしたという教職員の回答85％以上
○今日のめあて等を掲示し、1時間完結型の授業を行ったと教職員の回答90%以上
○個別の補充学習の実施を行ったと答える教職員の回答80%以上

〈検証指標〉
○学校評価アンケートにおいて、生徒が「今日のめあて」を理解し積極的に授業に参加したと回答90%以上
○学校評価アンケートにおいて、生徒が「授業はわかりやすい」と回答　90%以上
○学校評価アンケートにおいて、生徒が「毎日ノートやワーク、課題プリントを期限内に提出できた」と回答　85％以上

【家庭・地域との協働】

＜達成指標＞
○学校評価アンケートで、保護者が「子どもは家庭での学習習慣は定着していると感じる」と回答・75%以上

〈家庭・地域の取組内容〉
○期末懇談会で長期休業の宿題の内容を知らせ、計画表チェックの協力を要請
○オープンスクールを年3回実施
○家庭でできる体力向上カードの取組

〈家庭・地域の取組指標〉
○宿題の状況によっては、保護者への連絡を行う
○保護者への学校評価アンケートの実施
○長期休業における生徒全員への体力向上カードの配布

〈家庭・地域の検証指標〉
○生徒の体力向上カード参加と提出90％以上
○学校評価アンケート実施

【授業改善以外の学力向上の取組】

○補充学習の実施（全学年の基礎基本問題の指導と個別学習の実施）
○ICT研修の実施　年2回以上と授業でのICT実践の工夫
○感染状況をふまえ、ペア活動・4人班の協同学習の取組
○学年毎の朝自習の取組（1年読書、2年作文、3年問題集の取組）